

イーストスプリング 米国高利回り社債オープン

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の高利回り社債に実質的に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2025年7月11日～2026年1月13日

第270期 2025年8月12日決算 第273期 2025年11月10日決算

第271期 2025年9月10日決算 第274期 2025年12月10日決算

第272期 2025年10月10日決算 第275期 2026年1月13日決算

日経新聞掲載名：米高利回

第275期末(2026年1月13日)

基準価額	9,158円
純資産総額	19,036百万円
第270期～第275期	
騰落率	12.7%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

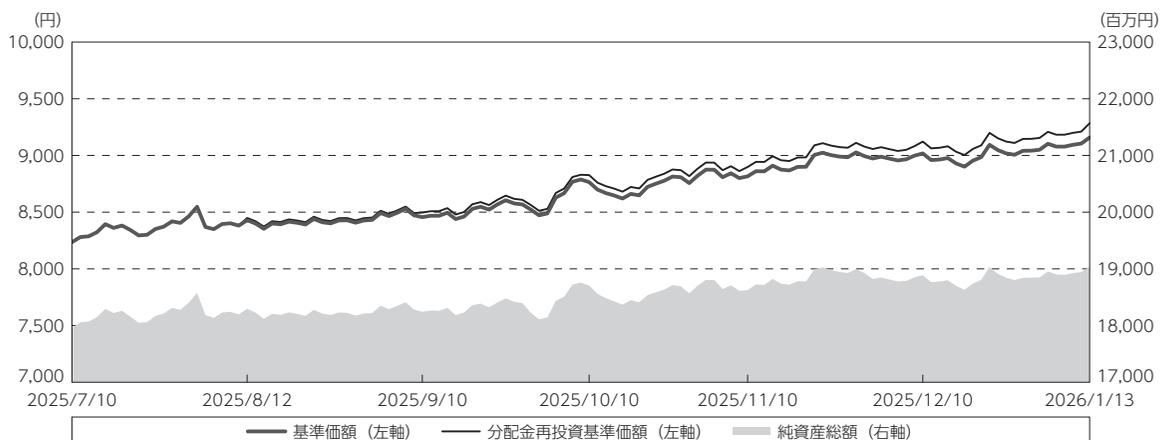
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年7月11日～2026年1月13日)



第270期首：8,235円

第275期末：9,158円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：12.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・債券価格が上昇したこと。
- ・米ドルが対円で上昇したこと。

1万口当たりの費用明細

(2025年7月11日～2026年1月13日)

項 目	第270期～第275期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	81	0.930	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(42)	(0.479)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.394)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.056)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他 1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合 計	83	0.949	
作成期間の平均基準価額は、8,731円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

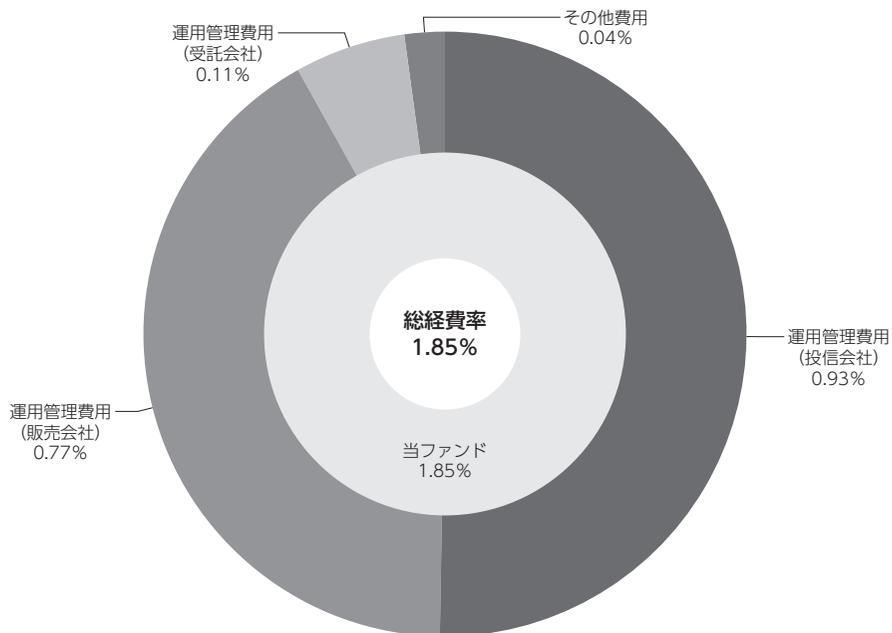
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

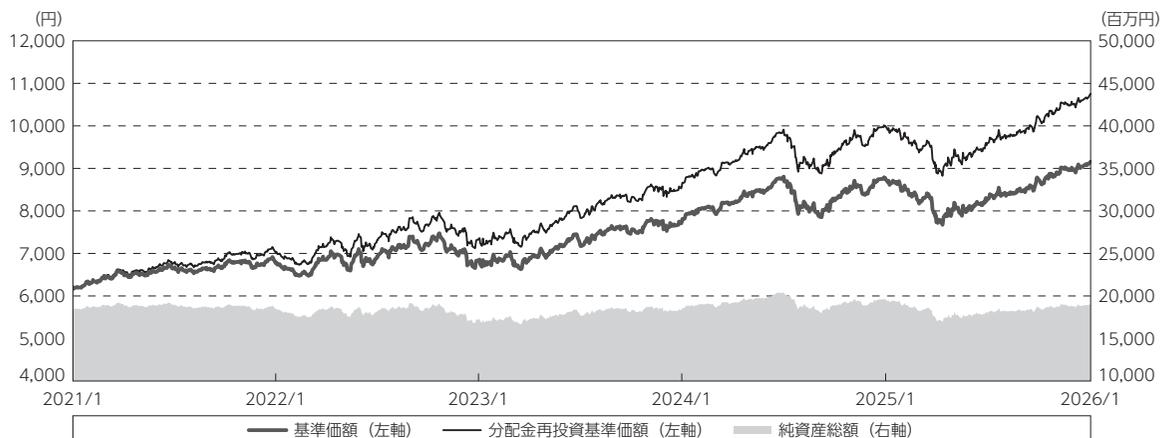
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年1月12日～2026年1月13日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2021年1月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日	2025年1月10日 決算日	2026年1月13日 決算日
基準価額 (円)	6,206	6,769	6,829	7,738	8,749	9,158
期間分配金合計(税込み) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	13.1	4.4	17.1	16.4	7.7
純資産総額 (百万円)	18,529	18,457	17,228	18,416	19,558	19,036

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

米国高利回り社債市場

当作成期は社債利回りが低下（価格は上昇）しました。

米国債利回りは当作成期初から2025年9月半ばまで、米国の経済指標が悪化し、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待が高まったことなどにより低下しました。その後は当作成期末にかけて、おおむね横ばい圏で推移しました。社債スプレッドは、総じて歴史的に狭い水準で推移しました。当作成期を通してみると縮小しました。

為替市場

米ドル円相場は、円安ドル高となりました。日銀は2025年11月までトランプ関税の経済への影響や日本国内の賃金・物価動向を慎重に見極める姿勢を示し利上げを先送りしました。その一方、FRBは9月以降、複数回の利下げを実施しました。しかし、日本政府による積極的な財政運営に対する財政悪化懸念などから長期金利が上昇し、円は対米ドルで下落基調をたどりました。当作成期を通してみると、円安ドル高となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資しました。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上がり益の獲得を目指しました。クレジット・アナリスト・チームによる徹底した個別銘柄の調査・分析とバリュエーションを重視し、業種や個別銘柄の分散に配慮した銘柄選択およびポートフォリオ構築を行いました。当作成期は、クルーズ船事業やメディア事業、エネルギー企業などの保有がプラス要因となった一方で、通信会社や金融サービス事業などの保有がマイナス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第270期	第271期	第272期	第273期	第274期	第275期
	2025年7月11日～ 2025年8月12日	2025年8月13日～ 2025年9月10日	2025年9月11日～ 2025年10月10日	2025年10月11日～ 2025年11月10日	2025年11月11日～ 2025年12月10日	2025年12月11日～ 2026年1月13日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.237%	0.236%	0.228%	0.226%	0.221%	0.218%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,597	1,611	1,636	1,657	1,682	1,739

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

足元の米国の経済指標には強弱が混在しており、実質国内総生産(GDP)成長率や消費動向は堅調である一方、労働市場は鈍化傾向にあります。高利回り社債市場は、信用格付の改善および長期平均を下回るデフォルト率などを背景に、ファンダメンタルズは引き続き堅調です。高利回り社債の対国債スプレッドは現在低水準にあり、さらなるスプレッドの縮小によって獲得できる追加リターンは限定的と考えられるものの、利回り水準は依然として魅力的です。また、企業のM&A活動が増加傾向にあることは、経営統合による業界再編やシナジー(相乗効果)による競争優位性強化や財務改善期待などにより、高利回り社債の価格上昇要因になると考えられます。引き続き市場環境を注視し、企業のクレジット分析を徹底して行ってまいります。

お知らせ

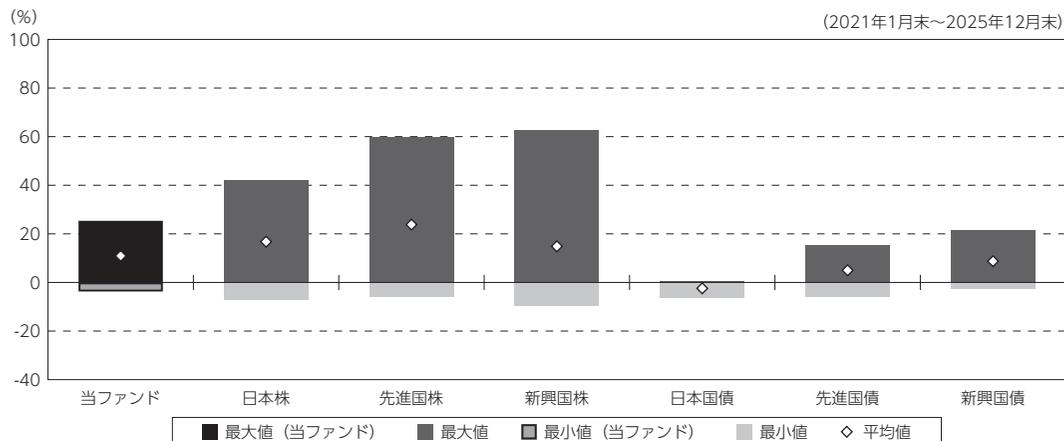
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年1月30日設定）	
運用方針	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング 米 国 高 利 回 り 社 債 オープンマザーファンド	米国の高利回り社債を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング 米 国 高 利 回 り 社 債 オープンマザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎月10日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.4	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 3.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.3	△ 6.1	△ 2.7
平均値	10.9	16.8	23.8	14.9	△ 2.4	5.0	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

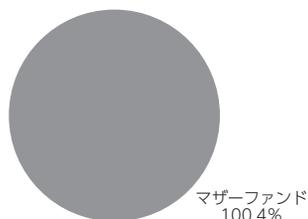
○組入上位ファンド

銘柄名	第275期末
イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド	100.4%
組入銘柄数	1銘柄

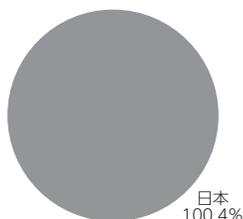
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

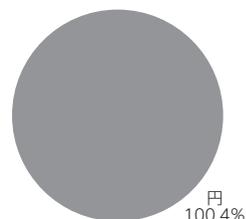
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

純資産等

項目	第270期末	第271期末	第272期末	第273期末	第274期末	第275期末
	2025年8月12日	2025年9月10日	2025年10月10日	2025年11月10日	2025年12月10日	2026年1月13日
純資産総額	18,295,361,407円	18,242,688,824円	18,705,409,125円	18,626,373,038円	18,887,899,231円	19,036,776,954円
受益権総口数	21,705,838,648口	21,574,933,696口	21,341,172,225口	21,128,683,660口	20,944,624,049口	20,786,705,543口
1万口当たり基準価額	8,429円	8,456円	8,765円	8,816円	9,018円	9,158円

(注) 当作成期間（第270期～第275期）中における追加設定元本額は50,719,951円、同解約元本額は1,071,891,966円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月30日～2025年1月29日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	24	0.056
(保管費用)	(13)	(0.030)
(その他 1)	(11)	(0.025)
合 計	24	0.056

期中の平均基準価額は、42,762円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2025年1月29日現在)

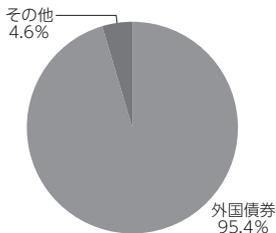
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 カーニバル 4% 2028/8/1	社債	米ドル	パナマ	1.9
2 CC0ホールディングス/キャピタル 5.375% 2029/6/1	社債	米ドル	アメリカ	1.2
3 マーブ・ボンド 3.95% 2031/1/29	社債	米ドル	イギリス	1.1
4 ベンチャー・グローバルLNG 9.5% 2029/2/1	社債	米ドル	アメリカ	1.1
5 ピルグリムズ・プライド 4.25% 2031/4/15	社債	米ドル	アメリカ	1.0
6 エナジアン・イスラエル・ファイナンス 4.875% 2026/3/30	社債	米ドル	イスラエル	1.0
7 DIRECTV FIN LLC/COINC 5.875% 2027/8/15	社債	米ドル	アメリカ	0.9
8 CQP/BIP-V Chinook 5.5% 2031/6/15	社債	米ドル	アメリカ	0.9
9 テネット・ヘルスケア 4.25% 2029/6/1	社債	米ドル	アメリカ	0.8
10 インテルサット・ジャクソン・ホールディングス 6.5% 2030/3/15	社債	米ドル	ルクセンブルグ	0.8
組入銘柄数	296銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

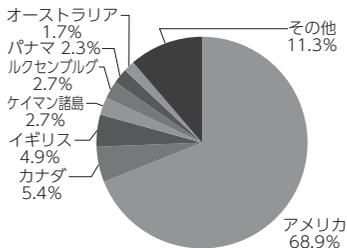
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

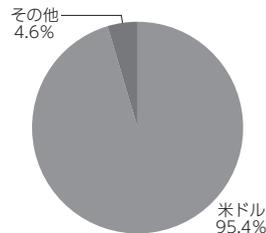
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。